

令和4年度
社会福祉法人 宮若市社会福祉協議会
事業報告

令和4年度 事業報告

1. 総括

令和4年度、国内外において様々な出来事が生じた。ロシアが2月24日にウクライナに侵攻し、死傷者は20万人を超えるともいわれ、一日も早い和平が望まれる。一方、9月8日にはエリザベス英女王が96歳で逝去され、世界中から敬愛を集めた女王の逝去に哀悼の意が表された。さらに、今年の2月にはトルコ、シリアにおいて大規模な地震が発生し、多くの犠牲者が発生し、一日も早い復旧・復興が望まれる。

国内においては、7月に参議院選挙が行われる中、選挙応援演説中であつた安部元首相が銃撃され、国民に大きな衝撃を与えた。8月には、東京五輪・パラリンピックのスポンサー契約を巡り、贈収賄容疑で15人が立件されるという事件も発生した。

経済的には、コロナ禍に伴う供給網の混乱、ロシアのウクライナ侵攻による石油・天然ガスや穀物価格の高騰により、円安、インフレが進行し、家計に大きな影響を与えている。

コロナ感染の猛威は令和4年度も継続し、8月には感染者数が26万人を記録するなど過去最多を記録したものの、年度末に向けて行動制限の緩和など「ウイズコロナ」に向けて動きが加速し、コロナ感染症も2類相当から5類に変更されている。

一方、明るい話題としては、アメリカ大リーグ、エンゼルスの大谷選手が令和4年度も投打の2刀流で、15勝、34本塁打でベーブルース以来の二桁勝利、二桁本塁打を記録するなど歴史的な活躍を見せた。国内プロ野球では、ヤクルト村上選手が国内選手最多の56本塁打を打ち、史上最年少の三冠王に輝いた。3月に開催されたワールドベースボールクラシック(WBC)においては、大谷選手をはじめとする多くの選手の活躍により、WBC優勝を果たしている。昨年11月のサッカーワールドカップカタール大会においても日本は、ドイツやスペインに逆転勝利を挙げ、決勝トーナメントに進出するなどの活躍をした。

このような中、宮若市社会福祉協議会においては、令和4年度の事業計画に基づき、事業をスタートさせておりますが、依然として猛威を振るうコロナ禍のなかで、状況に応じた事業展開を進めてきたところであります。

今後とも、ウイズコロナの中で、自治会長、民生児童委員各位をはじめ、関係機関、関係団体及びボランティア活動に取り組んでいただいている団体・個人の皆さまとともに、事業計画の推進に努めてまいります。

◎ 宮若市の人口構造（令和5年3月末日現在）

総人口	26,561人
65才以上人口	9,485人（高齢化率 35.7%）
内 75才以上人口	4,917人
15才未満	3,097人
総世帯数	13,212世帯
高齢者世帯数	6,966世帯
内 独居高齢者世帯数	3,319世帯
内 高齢者夫婦世帯数	1,809世帯
介護保険認定者数	1,970人（内 75才以上 1,723人）

2. 法人運営事業の状況

(1) 理事会・評議員会の開催

日 時	内 容
6月6日	第86回 理事会 ・令和3年度 事業報告について ・令和3年度 決算について ・定時評議員会の開催について
6月24日	第53回 評議員会 ・令和3年度 事業報告について ・令和3年度 決算について
8月8日	第87回 理事会 ・評議員選任・解任委員会委員の選任について ・評議員選任候補者の推薦について ・会長職務の執行状況について
8月24日	評議員選任・解任委員会
10月28日	第88回 理事会 ・会長職務の執行状況について
2月8日	第89回 理事会 ・職員の昇格、昇給等に関する規程の一部改正について ・会長職務の執行状況について
3月8日	第90回 理事会 ・令和4年度 資金収支補正予算（第1次）（案）について ・令和5年度 事業計画（案）について ・令和5年度 資金収支予算（案）について ・定時評議員会の開催について
3月22日	第54回 評議員会 ・令和4年度 資金収支補正予算（第1次）（案）について ・令和5年度 事業計画（案）について ・令和5年度 資金収支予算（案）について

(2) 監査

日 時	内 容
5月27日	令和3年度 決算監査
7月29日	令和4年度 第1期監査
10月19日	令和4年度 第2期監査
1月30日	令和4年度 第3期監査

(3) 役員研修会の開催について

- ・ 令和5年2月10日、直方市社会福祉協議会主催による研修会への参加要請。

(4) 総会・主な会議等への参加

日 時	内 容	出席者
4月7日	トヨタ福岡 新入社員研修会 講師	石井
4月19日	みやわか健康隊 総会	局長
4月21日	支援調整会議	井上
4月26日	宮若市ボランティア連絡協議会 総会	会長・高山
4月26日	直鞍エリア社協 事務局長会議	局長
4月27日	地域ケア会議	井上
4月27日	宮若手話の会 総会	会長・高山
4月28日	筑豊ブロック社協連絡協議会 総会	会長・局長
5月12日	直鞍エリア社協 地域担当者会議	井上
5月14日	宮若市手をつなぐ親の会 総会	会長・石井
5月14日	わらびの会 総会	会長・石井
5月21日	点訳サークルふぁみりい 総会	高山
6月11日	宮若市・鞍手郡ボランティア連絡協議会 総会	遠藤・高山
6月13日	直鞍エリア社会福祉協議会連絡協議会 理事会	会長・局長
6月19日	防災運動会	全員
6月29日	福岡県共同募金会 評議員会	会長
6月29日	宮若市青少年育成市民会議 総会	局長
7月16日	宮若市障がい者団体連絡会 総会	遠藤
7月22日	直鞍障がい者支援協議会	局長
7月22日	宮若市総合計画審議会	会長
7月26日	献血推進協議会	会長
8月9日	民生委員推薦会	会長・副会長
8月28日	障がい者団体 市長との懇談会	会長・局長
8月29日	宮若市総合計画審議会	会長
9月7日	リコリス子どもまつり実行委員会	局長
9月26日	宮若市総合計画審議会	会長
10月4日	リコリス子どもまつり実行委員会	局長
10月12日	宮若市戦没者追悼式	会長

10月17日	宮若市総合計画審議会	会長
10月19日	民生委員推薦会	会長・副会長
10月20日	宮若市障がい者計画審議会	局長
10月21日	宮若市高齢者計画審議会	局長
10月24日	福岡県更生保護女性連盟筑豊ブロック研修会	会長
10月26日	宮若市ボランティア連絡協議会 市長との懇談会	会長・局長
11月1日	宮若市人権擁護連絡会	会長
11月6日	宮永自治会座談会	遠藤
11月16日	鞍手竜徳高校「赤い羽根キャッチフレーズ」特別賞授与式	会長・井上
11月21日	宮若市総合計画審議会	会長
11月21日	宮若市地域福祉計画策定委員会	局長
12月1日	赤い羽根共同募金ポスター表彰式	会長
12月5日	宮若市総合計画審議会	会長
1月11日	民生委員推薦会	会長・副会長
1月24日	宮田バス停交流スペース整備事業ワークショップ	会長
2月8日	宮若市総合計画審議会	会長
2月22日	支援調整会議	井上
3月15日	ながやの会 総会	局長
3月29日	サロンすこやかグループ 総会	会長

(5) 研修会等への参加

日時	内 容	出席者
4月28日	赤い羽根共同募金 新任者研修	石井・井上
5月26日	生活福祉資金 貸付業務担当者研修	高山・竜口
6月16日	災害ボランティアセンター運営研修	高山・竜口
10月27日	会計・財務入門講座	高山・藤本
12月23日	会長・常務理事・事務局長研修会	会長・局長
2月9日	事務局長研修会	局長
2月10日	社会福祉法人役職員研修会	会長・局長
3月3日	市町村社会福祉協議会 職員研修会	入江

(6) 寄附金事業

項目	内	容
香典返し寄附金	57 件	1,075,000 円
一般寄附金	4 件	88,000 円

(7) 職員採用試験

日時	内	容
8月22日	令和4年度 宮若市社会福祉協議会採用試験	受付開始
9月14日	令和4年度 宮若市社会福祉協議会採用試験	受付締切 一般事務申込者 7名
10月2日	令和4年度 宮若市社会福祉協議会職員採用試験（第1次）	作文試験6名受験（1名欠席）
10月3日	大学教授へ作文採点依頼	
10月28日	第1回 採用選考委員会（第1次試験3名合格）	
11月13日	令和4年度 宮若市社会福祉協議会職員採用試験（第2次試験）	面接試験3名受験
11月18日	第2回 採用選考委員会（合格者2名決定）	
11月25日	採用予定者2名来所（意思確認）	
1月4日	宮若市社会福祉協議会職員辞令交付	

3. 地域福祉の推進

(1) 地域福祉座談会の開催

- 宮若市のまちづくり出前講座に登録を行い、地域福祉活動及び社協の事業内容等についての説明が出来るよう準備をしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、自治会等への積極的な座談会開催要請が出来なかった。しかし、4月22日にトヨタ自動車九州(株)新入社員研修会にて「心のバリアフリー」をテーマに講師を務めた。11月6日、宮永自治会からの依頼により座談会を開催し関係者25名程度の参加があり、宮若市の現状について説明すると共に福祉会についての説明を実施した。

(2) 福祉委員の委嘱

- ・ 地域福祉の根幹となる見守り活動の強化が求められる宮若市において、自治会長より推薦された方へ社会福祉協議会会長より福祉委員の委嘱状を交付し、見守り体制の強化を図った。

60 自治会 335 名に委嘱

(3) 福祉会の設置推進

- ・ 安心して住み続けることの出来る地域を目指し、要援護者台帳・ふれあい台帳・福祉マップ等の作成を自治会へ依頼し、地域福祉推進のために福祉会の設置推進を図ることとしていたが、新型コロナウイルスの影響により積極的に福祉会の設置推進を図ることが出来なかった。

21 自治会で福祉会を設置（内、18 自治会へ助成）

(4) いきいきサロン活動の推進

- ・ 対象者や年齢の区切りが無く、誰もが気軽に集える居場所づくりとして、自治会主体による「いきいきサロン活動」を推進している。昨年度同様、助成金交付対象となる年6回の開催が出来なかった自治会にも助成金を交付した。

14 自治会へ助成

(5) 地域福祉研修会の開催

- ・ 7月27日、自治会長・民生委員・福祉委員を対象にマリーホール宮田にて研修会を実施した。北九州大学名誉教授の中島俊介先生を講師としてお招きし、「幸せの人間関係」・・・幸せのコミュニケーションをテーマに講演いただいた。

(6) 福祉映画上映会の開催

- ・ 7月24日、宮田文化センターにて福祉映画上映会「お終活」を開催しコロナ禍ではあったが150名程度の参加があった。

(7) 地域歳末・年始事業

- ・ 歳末たすけあい募金を財源として、自治会にて年末・年始に実施されている助け合い活動や地域の絆づくりを目的とした事業に対し、自治会から歳末たすけあい募金に協力いただいた募金額の80%を助成した。

19 自治会へ助成

4. ボランティア活動の推進

(1) ボランティアセンターの運営

- ・ ボランティアをやりたい方とボランティアをやってもらいたい方を繋ぐボランティアセンターに、ボランティアをやりたい方が 643 名登録された。新型コロナウイルスの影響により、ボランティア活動の受け入れ先が確保できない状況が続いており、ボランティア活動者の募集よりもボランティア活動を希望されている施設等の調査が急務となっている。

(2) ボランティア講座の開催

- ・ 2月21日、宮若市社会福祉センター会議室にてボランティア講座を開催し、13名の参加があった。講師として、一般社団法人 生き方のデザイン研究所 代表 遠山昌子 氏を講師としてお招きし、「ボランティア活動の基本のキ」をテーマに研修会を実施した。

(3) 災害ボランティア養成講座の開催

- ・ 11月25日、宮若市ボランティア連絡協議会と共催で、福岡県社会福祉協議会を講師としてお招きし、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施した。福岡県社協では災害ボランティアセンターの研修内容を初級～上級まで準備されており、今後も継続して研修会を開催して欲しいとの要望が多かった。

(4) 小物製作ボランティアの支援

- ・ 手芸等の特技を活かしたボランティア団体を支援し、作品は社会福祉センター窓口にて販売している。販売した売り上げについては全額赤い羽根共同募金へ寄附頂いている。令和4年度は 63,058 円の寄附を頂いた。

(5) ボランティアスクールの開催

- ・ 8月4日、5日の2日間、小学校5・6年生を対象とした事業を計画していたのだが、7月21日に福岡県内の新型コロナウイルス感染者数が1万人を超えたため、8月の開催については延期とした。
12月11日、北九州環境ミュージアムにてSDGsとは何か？地球温暖化や公害について授業だけでは学ぶことが出来ない事を楽しく学ぶことが出来た。
12月17日、福岡市民防災センターにて火事の怖さをVR体験や煙の中を歩いてみるなどして体験した。また、震度6強の揺れを体験し災害時には何が必要なのかについて学んだ。

(6) ボランティア連絡協議会・団体の支援

日 時	内 容
4月5日	宮若市ボランティア連絡協議会 事務局会
4月26日	令和4年度 宮若市ボラ連総会
5月10日	宮若市ボラ連 事務局会・理事会・防災運動会実行委員会
6月1日	宮若市ボラ連 事務局会・防災運動会実行委員会
6月18日	防災運動会実行委員会・前日準備
6月19日	防災運動会
7月12日	宮若市ボラ連 事務局会・理事会・防災運動会実行委員会反省会
8月9日	宮若市ボラ連 事務局会
9月13日	宮若市ボラ連 事務局会・理事会
10月11日	宮若市ボラ連 事務局会・臨時理事会
11月8日	宮若市ボラ連 事務局会・理事会
12月6日	宮若市ボラ連 役員研修会
12月13日	宮若市ボラ連 事務局会
1月10日	宮若市ボラ連 事務局会・理事会
2月28日	宮若市ボラ連 事務局会
3月14日	宮若市ボラ連 事務局会・理事会

(7) 地域ふれあい防災運動会の支援

- 6月19日、宮若市ボランティア連絡協議会・宮若市障がい者連絡協議会、(旧)若宮小学校区自治会の若宮ブロックと連携し、宮若西中学校の体育館にて地域ふれあい防災運動会を実施し149名の参加があった。防災運動会を始めた当初は、ボランティア連絡協議会と障がい者連絡会のみで実施していたが、現在は自治会を巻き込んだ防災運動会となっている。自治会長を含めた実行委員会を組織しているが、実行委員で対応できる範囲を超えているのではないかと反省会で話があり、宮若市社会福祉協議会が主催している事業でもない為、次年度からは、宮若市ボランティア連絡協議会で出来る範囲を考え実施していく事となった。

(8) ボランティア活動の啓発

- 新型コロナウイルスの影響により活動場所や利用人数の制限等によりボランティア活動にも支障が生じている。活動内容等については周知できなかったが、会員募集については、ホームページや広報誌を活用し募集した結果、数名の新たなボランティアが加入する団体もあった。

(9) ボランティア活動保険への加入推進

- ・ 安心してボランティア活動を行って頂くために、ボランティア活動保険への加入推進を図り、903名が加入された。

5. 相談機能の充実

(1) 弁護士無料法律相談の実施

- ・ 偶数月第2火曜日の午後1時より4時までの間、事前予約により一人30分程度の相談を福岡県弁護士会筑豊部会に依頼し、弁護士による無料法律相談を実施した。

月	件数	月	件数	月	件数
4月	4件	6月	6件	8月	2件
10月	3件	12月	4件	2月	6件

(2) ひきこもり支援事業

- ・ 偶数月第4火曜日の午後1時より4時までの間、一般社団法人ひきこもり支援相談士認定協会へ依頼し、ひきこもり相談士を派遣して頂き、相談事業を実施した。また、奇数月については相談士独自による相談会場として社会福祉センターの一室を提供し、毎月相談を受ける事ができる体制を整えている。

月	件数	月	件数	月	件数
4月	1件	6月	0件	8月	0件
10月	1件	12月	1件	2月	0件

(3) フードバンクの運営

- ・ 新型コロナウイルスの影響により、収入の減少や失業等が宮若市内でも発生しており多くの方が相談に来られ、相談者へ食材等の提供を行った。毎月第4金曜日にはNPO法人フードバンク福岡から継続的な食料提供を受けている。また、トヨタ自動車九州(株)からも毎月「フードドライブ活動」を通じて多くの食材の提供を受けた。また、豊田合成九州(株)及びトヨタテック福岡(株)からも食材の提供を受けた。

71件に提供

(4) 緊急援護資金の貸与

- ・ 生活相談等で来所され、生活福祉資金の貸付の必要があると判断した場合、住民票や所得課税証明書等の書類が必要となるが、取得費用が無い方や貸付決定までの間にライフラインが止まってしまう方に対し、1万円を限度として最低限必要な金額を貸与した。

30件に貸与

(4) 関係機関との連携

- 生活福祉資金特例貸付の延長により宮若市の困りごと相談室と随時連携を図り相談者の支援にあたった。また、日常生活自立支援事業については、福岡県社協・宮若市・直鞍地区障がい者基幹相談支援センター・その他福祉施設等々と連携し事業運営に努めた。

6. 高齢者の支援

(1) 寝具洗濯サービスの実施

- 65歳以上の介護保険を受けている方等を対象に、5月より民生委員及び在宅介護支援センターの協力を得て寝具の洗濯サービスを実施した。新型コロナウイルスの影響により自宅訪問が厳しい状況の場合には民生委員等の代筆により申請可能とした。申請者へ決定通知書を送付時に受け取り日時も記載し、随時委託業者が自宅訪問回収し洗濯後には自宅へ届け8月11日には全ての業務が完了した。

124名 223枚の洗濯

(2) ふれあい電話の実施

- 5名のボランティアにより毎週水・金曜日の週2回、一人暮らし及び昼間独居で70歳以上の高齢者の自宅に電話による声掛けを行った。また、誕生日にはバースデーカードを送付し、ボランティアの顔写真入りの年賀状も送り交流を深めた。民生委員及び社協広報誌にて利用者の募集を行っているが利用者の増加には繋がっていない状況である。

17名が利用中

(3) 在宅介護者の支援

- 温かい手で優しくなでることで、オキシトシンの働きにより心身をケアする「手あて」。ストレスケアや認知症ケアとして用いられているセラピューティック・ケア講座（7月13日ミニ講座・8月22日入門講座）を実施した。

13名が参加

7. 障がいを抱える方への支援

(1) 障がい者サロンの開催

- 毎月第2木曜日 午前10時より午後3時までの間、社会福祉センター2階にて障がい者サロンを実施した。しかし、新型コロナウイルスに感染すると重症化しやすいリスクを抱える方もおられる為、福岡県内の感染者数等が増加したが場合においては事業を中止とした。

日 時	内 容
4月14日	誕生日会、音楽会
5月12日	宮若トレッジ見学、トライアルGO 脇田店にて買い物等
6月9日	誕生日会、音楽会
7月14日	誕生日会、音楽会
8月	中止（新型コロナ感染者増加の為）
9月	中止（新型コロナ感染者増加の為）
10月6日	生協の広告を使った作品作り、音楽会
11月2日	佐賀バルーンフェスタ見学
11月8日	干支のウサギ作品作り、音楽会
12月8日	干支のウサギ作品作り、音楽会
1月12日	久留米 初詣
2月9日	福笑い、風船バレー、音楽会
3月9日	脳トレ、音楽会

計 10 回実施、延 43 名の参加

(2) 手話サロンの開催

- 宮若手話の会に依頼し、毎月第2・第4火曜日の午前中に社会福祉センター2階にて、聴覚障害を持たれる方の交流と社会参加を推進し、手話が分からない方にも気軽に簡単な会話程度の手話を学ぶことを目的として手話サロンを開催した。

計 13 回実施、延 106 名の参加

(4) 障がい者団体の支援

- 宮若市社会福祉センターの売店業務を、宮若市障がい者団体連絡協議会へ委託し、雇用創出の場や社会参加の機会増進を図った。

日 時	内 容
5月10日	宮若市障がい者連絡協議会 役員会
5月14日	宮若市手をつなぐ親の会 総会
5月14日	わらびの会 総会
7月16日	宮若市障がい者連絡協議会 総会
12月16日	宮若市障がい者連絡協議会チャリティーバザー

8. 子育ての支援

(1) 子育て交流会の開催

日 時	内 容	参加者
6月25日	親子ヨガ体験教室 (柴村あやのさんを講師としてお招きし、動物になりきるヨガポーズやゆっくり落ち着くポーズなど、静と動を組み合わせ楽しい時間を過ごされた。)	8名
10月22日	ベビーマッサージ教室 (参加者が少なかったためお母さん同士の友情も芽生え、終始笑顔でリラックスしながら楽しんで頂いた。)	2名
12月10日	しめ縄リースづくり (しめ縄の色やお花、飾りつけなど一つ一つ選びながらオリジナルのしめ縄を完成させた。)	16名

(2) おはなし会の開催

日 時	内 容	参加者
6月18日	第1回 すくすくわらべ (梅雨らしいわらべうたや、パネルシアターでのおはなし等)	14名
10月27日	第2回 すくすくわらべ (わらべうたで秋の野菜や果物にふれ、パネルシアターでのおはなし、工作では動物の指人形作成等)	12名
11月19日	第3回 すくすくわらべ (パネルシアターやエプロンシアター。全身を使った親子遊び等)	22名
1月28日	第4回 すくすくわらべ (節分をテーマにわらべうたやパネルシアター、親子遊び等)	12名
3月6日	第5回 すくすくわらべ (春のわらべうたで親子遊び等。紙風船で遊ぶ)	9名

(3) 子育て用品リユース事業

- 子育て用品のリサイクルを進めるために、不要となった子育て用品を持ち込んでもらい、必要な方が無料で持ち帰ることの出来る「子育てリユースセンター」を宮若市社会福祉センター2階の一室で実施した。利用者から持ち込まれる衣類や子育て用品については、宮若市子育て連絡会「きらりん」に協力を頂き整理整頓を行った。

607名が利用された

(4) 子育て団体の支援

日 時	内 容
5月11日	令和4年度 宮若市子育て連絡会きらりん総会（書面総会）
12月17日	クリスマスイベント

9. 福祉教育の推進

(1) 福祉入門教室・福祉の出前講座

- 福祉人材バンクからの助成金を一部財源として、小学校で行われている福祉教育の充実を図る為、ライジングゼファー福岡の車いすバスケット選手の福澤 翔選手を講師として招待し福祉教育を行った。

日 時	学 校 名	内 容
11月4日	宮若西小学校	4年生3クラスを対象に車いすバスケットボール授業を実施（終日）
11月8日	光陵小学校	4年生2クラスを対象に車いすバスケットボール事業を実施（AM）
11月10日	宮田北小学校	4年生1クラスを対象に車いすバスケットボール事業を実施（AM）
11月14日	宮田南小学校	4年生2クラスを対象に車いすバスケットボール事業を実施（AM）

(2) 車いすバスケットボールイベントへの参加

- ライジングゼファー福岡主催による Wheelchair フェスに、車いすバスケットボールの試合観戦と選手が使用している競技用車いす体験に参加する予定だったが、新型コロナの影響によりイベントが開催されなかった。

(3) 福祉教育の支援

- 小学校からの依頼により、総合学習の時間に車いす体験を含めた福祉教育を実施した。

日 時	学 校 名	内 容
9月7日	宮田南小学校	4年生2クラスを対象に車いす授業を実施
10月7日	宮田北小学校	4年生1クラスを対象に車いす授業を実施
10月14日	光陵小学校	4年生2クラスを対象に車いす授業を実施
11月14日	宮若西小学校	4年生3クラスを対象に車いす授業を実施

(4) 社会福祉協力校の指定

- ・ 小学校、中学校及び高等学校の児童・生徒に、福祉への理解と関心を高め、思いやりの心でお互いに助け合い人権を尊重し合う福祉の心を養う為の授業や事業に対し、4小学校・2中学校・1高等学校へ助成金を交付した。

(5) とともに生きるの配布

- ・ 福岡県社会福祉協議会からの配布依頼により、小学校3年・4年・5年・6年生を対象とした福祉教育教材を市内全小学校の4年生へ242冊配布した。

(6) 福祉教材寄贈

- ・ 小学校新入学1年生の児童を対象に、歳末助けい募金を財源とし防犯ブザーを230個寄贈した。

10. 貸出事業

(1) チャイルドシートの貸出

- ・ 乳幼児の安全と子育て世帯の負担軽減を図るため、チャイルドシート及びジュニアシートの貸出を行った。令和3年度より父母及び祖父母等においても、貸出期間を3カ月とし更新時に1,000円の利用負担が生じるが何度でも更新可能とした。現在チャイルドシート31台、ジュニアシート17台を所有している。

190回貸出

(2) 福祉車両の貸出

- ・ リフトカーなど本会で所有している福祉車両を、燃料費のみ負担をいただき貸出を実施した。平成10年に24時間テレビより寄贈いただいていた車両「キャラバン」に故障等が多発してきたため、リース契約にて新たな車両を導入した。

111件貸出

(3) 車いすの貸出

- ・ 一時的に車いすが必要な方へ貸出を行った。また、介護保険認定者など他の制度が利用できる方へはアドバイスをを行った。現在貸出可能な車いすを 24 台所有しており、全てのタイヤをノンパンクタイヤへと交換した。

93 件貸出

(4) レクリエーション遊具の貸出

- ・ 地域で開催されているイベントや、幼稚園・保育園等にレクリエーション遊具の貸出を行った。

9 件貸出

11. 広報啓発活動

(1) 広報誌の発行

- ・ 市民の声や福祉情報、行事等のお知らせなど福祉の情報紙として「ほっと」を年 6 回発行し細かな情報を掲載できるよう努めた。

(2) ホームページ・フェイスブック・インスタグラムの更新

- ・ 行事のお知らせや事業報告などを適時掲載し、情報提供と啓発媒体としてこまめな更新を行った。

12. 指定管理者制度による福祉センターの運営

(1) 宮若市社会福祉センターの運営

- ・ 宮若市からの指定管理を受け、センターの目的に沿った運営・管理に努めた。コロナの影響もあり入館者が少ない状況であるが、こまめな節電等を実施し経費削減に努めた。また、高齢者の利用が多いため、検温及びこまめな消毒と換気を徹底し感染防止対策を徹底した。

入館者数 55,090 名

(2) 宮若市巡回ふくしバスの運行

- ・ 毎週月・水・金曜日に市内を巡回する宮若市巡回ふくしバスの運行を行った。乗車前の検温、手指消毒や車内消毒、マスク着用の徹底を行った。

13. 受託事業等

(1) 放課後児童健全育成事業の受託（宮若市より）

- 市内4か所10クラスで全学年を対象として学童保育所の運営を実施した。令和4年度も新型コロナウイルス感染症の流行が続いた為、より一層感染症対策に努めた。夏休み期間中に福岡県内の新型コロナ感染者数が増えたため、学童保育所の利用について自宅で保育が可能な方へは登所を控えて頂くよう依頼し、登所日数により保育料を算出した。また、新型コロナウイルス感染症対策に係る事業への補助金1,998,084円を活用し、安全に学童保育所の運営ができるよう、CO2モニターや消毒液等を購入した。

	南学童1	南学童2	北学童1	北学童2	光陵学童1
4月	40	33	28	28	36
5月	38	33	26	28	35
6月	38	33	24	28	36
7月	38	33	24	28	36
8月	35	33	24	27	36
9月	35	32	25	27	31
10月	34	32	26	27	32
11月	34	31	26	27	32
12月	34	31	26	25	32
1月	34	28	25	25	31
2月	31	28	25	24	29
3月	30	28	25	23	29
合計	421	375	303	317	395

	光陵学童2	光陵学童3	西学童1	西学童2	西学童3
4月	36	21	36	34	34
5月	36	21	35	34	33
6月	36	21	35	34	32
7月	35	21	35	33	33
8月	35	20	32	33	28
9月	33	19	28	33	29
10月	29	19	29	32	28
11月	29	18	29	31	29
12月	29	18	29	31	28
1月	29	18	29	31	28
2月	30	18	29	30	28
3月	29	18	29	30	28
合計	386	232	375	386	358

年間 3,548人

(2) 高齢者居場所づくり事業の受託（宮若市より）

- 7月末に福岡県内において1日の新型コロナ感染者数が1万人を超え、宮若市内でも感染者が増加していた為、8月3日より9月13日までの間、高齢者居場所づくり事業については休止とした。昨年に引き続き半日開催でのサロンを実施し、非常勤指導員については午後休業の措置を取った。その為、国の支援策である緊急雇用安定助成金を活用し、指導員の雇用継続に努めた。

147回実施 2,663名の利用

年 度	開所日数	利用者数	備 考
平成30年度	143	3,303	通常実施
令和元年度	114	3,502	コロナにより1カ月閉所
令和2年度	51	1,277	コロナにより5カ月閉所
令和3年度	91	1,783	コロナにより4カ月閉所
令和4年度	147	2,663	コロナにより1カ月閉所

(3) 宮若市戦没者遺族会事務局の受託（宮若市より）

日 時	内 容
5月14日	令和3年度 決算監査 第1回 役員会
6月14日	令和4年度 総会
10月12日	宮若市戦没者追悼式 第2回 役員会
11月8日	福岡県護国神社参拝（24名参加）
11月29日	宮若市戦没者遺族会交流会（25名参加）
2月20日	令和4年度 役員研修会及び福岡県戦没者遺族大会合同開催

(4) 日常生活自立支援事業の受託（福岡県社会福祉協議会より）

- 認知症、知的障害、精神障害などで判断能力が不十分なために、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などに不安がある方が、住み慣れた地域で安心して生活ができるように支援した。新規の問い合わせも病院や施設等から複数あっているが、非該当事案や本人が納得しないなどで新規契約には至っていない。今後も利用者の増加が見込まれる為、市民支援員さんに協力いただき事業運営を図っていきたい。

延 184回の支援

(5) 生活福祉資金貸付事業の受託（福岡県社会福祉協議会より）

- 福岡県社会福祉協議会より業務委託を受け貸付を行った。新型コロナウイルスの影響を受けた世帯等に対し、「生活福祉資金の特例貸付」が実施され再三の期間延長がなされてきたが、令和4年9月末を以って特例貸付の受付期間が終了となった。この資金については、償還免除となる条件が設定されている為、受付期間終了後も償還に関する問い合わせが多くあっている。

宮若市での特例貸付件数 1,467 件
特例貸付金額 583,200,000 円

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
緊急小口資金(特例)	4	3	10	3	7	8	0
総合支援資金(特例)	4	3	7	4	9	7	0
緊急小口資金(通常)	0	1	1	1	0	0	1
教育支援資金	1	0	0	0	0	0	0
福祉費	0	0	0	0	2	0	0
小 計	9	7	18	8	18	15	1

種 別	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
緊急小口資金(特例)	0	0	0	0	0	35
総合支援資金(特例)	0	0	0	0	0	34
緊急小口資金(通常)	1	2	2	2	1	12
教育支援資金	0	0	0	0	1	2
福祉費	0	0	0	0	0	2
小 計	1	2	2	2	2	85

(6) 共同募金会宮若市支会事務局の受託（福岡県共同募金会より）

- 福岡県共同募金会宮若市支会の事務局を受託し、10月1日から12月31日までの間、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金の強調月間とし、戸別募金・法人募金・学校募金・募金箱・イベント募金等々の方法で募金活動を実施した。赤い羽根共同募金の啓発ポスターを市内中学校の美術部に制作を依頼した。優秀作品として宮若東中学校の渡部悠一朗さんの作品を令和4年度のポスターとして使用させて頂いた。法人募金（企業等への募金依頼）では、共同募金会の理事の方々にご協力いただき市内事業所等を訪問し共同募金への協力を依頼した。また、12月21日・22日に宮田仏教会の方々による街頭募金が実施され、歳末たすけあい募金に全額寄附頂いた。

- 共同募金額 5,115,421 円（達成率 94.1%）
- 歳末たすけあい募金 800,553 円（達成率 100.2%）

(7) メセナシート配布事業（ソフトバンクホークス(株)より）

- ソフトバンクホークス(株)からの依頼により、宮若市内の福祉施設・福祉団体・学童保育所等へホークスの試合観戦希望を実施し、希望される施設等へチケットを配布した。